



瑞江中学校だより

令和7年11月26日
江戸川区立瑞江中学校
第7号

校内でセアカゴケグモが見つかり、生徒に注意喚起しました

11月20日(木)用務主事さんが校庭の側溝のふた(グレーチング)に、蚊の産卵防止のため、防虫ネットを取り付けていた際、セアカゴケグモを見つけました。

かつて人が命を落とすことがある毒があると報道されていたのですが、日本でこのクモにかまれて死亡した例がないこと。現在は秋田県と青森県以外都道府県に定着してしまっていること。特定外来生物に指定されており、飼育、保管及び運搬すること、野外へ放したり譲渡したりすることなどが禁止されていること。身近な例では、今年2月に篠崎小学校で見つかり、江戸川区のホームページに「区内でセアカゴケグモが発見されました」という記事があること。一応副校長先生から区役所にお知らせしたこと等を踏まえて、その日に行った避難訓練後に、校長が全校生徒に見つけた場所(生徒昇降口と体育館の間)を差し示して、見つけても触らないこと。教職員に知らせる事。などの注意喚起をして、その時点ではまだ標本にしていなかったのも、実物を見たいときには放課後理科の先生に見せてもらえることを周知しました。

生徒はタブレットなどを使い、セアカゴケグモを見つけたらどうしたら良いか、ネット上にある正しくない情報への対処も含めて、適切に調べて対応できていると思います。

【参考】Windows95が発売されたばかりで情報源の多くがオールドメディアだけだった1995年、今から30年前。阪神淡路大震災や地下鉄サリン事件が起き「安全神話の崩壊」と言われた年に、オーストラリア原産の猛毒グモが日本に侵入したとして「セアカゴケグモ」の駆除の様子や地域住民が怖がっている様子が連日テレビや新聞で大々的に報道されていました。2017年(平成29年)にも「ヒアリ」侵入が大きく報道されましたがアップデートはされていますか。瑞江中学校では、新しい情報・時代に合わせた生徒指導を進めて参ります。



全国学力学習状況調査(3年生)結果

右の表は、全国の平均正答率を100%としたときの本校生徒の平均正答率です。

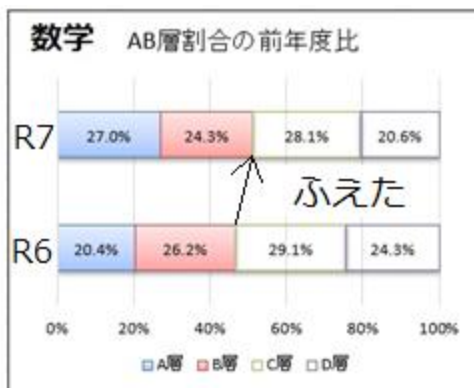
令和6年度以降は表の数字が100%を越えているので、全国平均より本校生徒の正答率が高くなったことがわかります。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国語	86%	102%	103%
数学	82%	101%	107%

また右下のグラフからは、下の令和6年度より上の令和7年度の方が、全国上位1/2以上に入る成績の生徒(A層)+(B層)の割合が増えている様子もわかります。

日常的に学力向上を意識することができるよう、教育目標に『ものごとを正しく深く考え創造力の富んだ人になる(学習)』を入れて教室に掲示していることや、令和6年度から生徒が取り組んでいる家庭学習ノートをはじめとする学力向上に向けた取り組みや、先生方の授業改善なども行いながら、生徒が誇りに思える学校としてともに成長して行きたいと考えています。

もう少し詳細な今年度の全国学力学習状況調査結果の分析表は、今月中にホームページにアップ致します。



総合防災競技大会に生徒会が参加しました

11月22日(土)に総合防災訓練が瑞江第三中学校で行われました。近隣の4校の中学校が集まり、放水訓練・救出訓練・バケツリレー訓練の3種目でタイムを競いました。本校からは生徒会役員の6名が参加しました。陽射しが暖かい一日でしたが、特にバケツリレー訓練は思った以上に難しく、ジャージや靴がびしょ濡れになりながらも頑張った生徒がいました。

災害が発生したときには、中学生の皆さんはとても地域から期待されます。来年度も総合防災競技大会は行われるので、ぜひ皆さんに参加してもらい、防災への意識を高めてほしいと思います。

教育実習

11月17日(月)から教育実習生が本校で学んでいます。大学3年生で()さん。担当教科は理科、クラスは2年A組を担当いたします。3週間という限られた時間ではありますが、しっかり学んで、将来に活かして欲しいと思います。

本校体育館屋上プール外壁面に掲示していた看板『教育目標板』について

この度、区議会議員先生と元PTA会長さんから、地域の方が町のシンボルと考えていた看板が突然無くなってしまったことに対する説明をするようご指導をいただきました。ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。以下ご説明させていただきます。

各学校の教育目標

学校は学習指導要領において、法令で定められている教育の目的や目標などにに基づき、生徒や学校、地域の実態に即し、学校教育全体や各教科等の指導を通して育成を目指す資質・能力を明確にすることとともに、『各学校の教育目標』を設定することが求められています。

ですから全ての小・中学校、高等学校に『各学校の教育目標』があり、本校でもその時代の社会状況を踏まえて、生徒や学校、地域の実態を的確に把握し、生徒の人間として調和のとれた育成を図るという観点から、教育の内容等の組織あるいは授業時数の配当などに十分反映させる必要があるので、毎年見直して教育委員会に届け出て受理していただく教育課程の中に記載しています。

校長は令和5年度・6年度の本校生徒の実態から「学習にしっかり取り組みましょう」「実践を通して一層心を豊かにはぐくみましょう」「健康を意識して体を強くしていきましょう」といったいわゆる「知・徳・体」を明確に示すこと。加えて、他者と進んで協力することを本校の教育目標として日常的に意識させることで、本校生徒のもっている力を一層伸ばしていけると考え、令和6年5月の学校評議員会でご相談させていただき、出席委員から反対意見はなく、校長の考えを支持するという御意見をいただいたことを踏まえて校長としての方針を確定して、令和6年7月に学校だよりで生徒保護者、町会長様や元PTA会長様をはじめとする毎回学校だよりをお届けしている皆様、学校ホームページにもアップ致しましたのでそれをご覧いただいた皆様に、令和7年度からは、本校卒業生の方に見覚えのある、昭和から平成初めに本校で使用していた以下の教育目標に戻すことをお知らせしました。

瑞江中学校の教育目標 【目指す生徒像】

- 一、ものごとを正しく深く考え創造力の富んだ人になる（学習）
- 一、健康なからだで豊かな心情の人になる（心身）
- 一、思いやりの心を持ち進んで協力する人になる（協調）

教育目標板

沿革史にあるように、本校には平成5年1月20日に体育館屋上にあるプールの外壁面に当時の教育目標を掲示する『教育目標板』が設置されました。新体育館の完成と創立45周年の際にいただいた寄付の一部が使われたのではないかと伺っておりますが、『教育目標板』だけ別途寄贈されたものなのかもしれません。

いずれにしても、教育目標を変えれば『教育目標板』は書き換えるか取り外すことになります。毎年変わる可能性がありますし文字数も一定ではなく、足場を組んで取り外して書き直し、また足場を組んで取り付けることは足場を組んで作業する1回につき100万円では済まない費用がかかるため、今後は『教育目標板』を使用しないことにして取り外しのみと致しました。設置されてから30年以上屋外にあったもので、保存に適さない大きさ・形状（一辺3メートルの正方形の看板が4枚）でしたから処分していただきました。

この『教育目標板』を、町のシンボルとして思い入れをもたれていた皆様に対する事前のご説明が足りず、申し訳ありませんでした。

寄贈品の受け取り・処分について

学校で生徒指導に必要とされる物品の中で、保護者負担でご用意いただくものの他は、公費で購入するため、学校から区民の皆さんに寄付・寄贈等をお願いすることはありません。ただし、寄贈の申し出があれば検討の上受け取ることがあります。

寄贈を受けない物品には、生徒指導に必要なもの。個人や政治家の宣伝となるような看板や銅像など。ピアノのように毎年調律などの維持管理費用がかかるもの。などが該当します。

これまで受け取らせていただいた寄贈品には手のひらサイズの空気清浄機から、野球用のグローブ、体育館で使用していた石油ストーブのような大型備品などがあります。大切に生徒指導などで使わせていただき必要に応じて修理するなどしておりますが、もともと寄贈を受ける際に管理義務期間の設定をしていないので、こわれたり使用しなくなった際には、寄贈者全員に対する説明会を行ったり、寄贈者全員の了解をいただかないと処分できないということではなく、学校判断で処分しています。

地域などから校長に対する声について

教育目標の変更・教育目標板撤去について校長が発信した後、保護者からは賛成の声が聞かれました。看板がなくなってからも地域の方から、すっきりしてよかった。という声をいただきました。かつて本校教員だった方からは、同窓会の際に、久しぶりに学校の前を通った際に教育目標板がなくなっていたことに驚いたという話は出たが、批判的なものでは全然なかった。というお話も伺っています。昨年度生徒3名から変更についての質問がありました。一人は前教育目標が好きだったと話していたので、考えをはなしたうえで、個人目標や生徒会の目標にすることを考えてみてはどうか。と伝えました。また保護者以外の大人4名の方から『教育目標板』の取り外し反対。改めて看板を掲げたい。などとおっしゃる方がいらっしゃいましたので個別にお話しをさせていただいた際に「公立学校の外壁に看板を掲示することは、他校に例がないように、台風被害やメンテナンス費用を考えると今後は考えにくいです。周年行事等の際に地域の方のご寄付で「校訓」の位置づけのような石碑を校地内外に設置した例が区内他校にはあるようです。」とお伝えしました。平成21年度に当時の文部科学大臣の下で「校訓等を活かした学校づくり」が模索されたことがあったからです。校長から地域の皆様に石碑の寄付をお願いしているわけではありませんので、くれぐれも誤解されませんようお願いいたします。

本校の「校訓」について調べたのですが、創立満10周年記念誌に掲載されている上のものだけのようです。他に挙げたい言葉があれば、この「校訓」に追加するか、全面的に改訂することもあるかも知れません。

校 訓

一、常に中学生としての自覚に立とう
二、よい社会人となろう
三、自主自律の態度をつくろう
四、豊かな情操と公正な判断力を養おう
五、常に健康の増進をはかろう

ちなみに同時期の本校の教育目標は次の5つで、知・徳・体に加え「生活指導」と「進路指導」のようです。

【創立満10周年記念誌に掲載されている 昭和32年度の 本校の教育目標】

- A、初等普通教育の第二次達成をはかり、義務教育の最終的完成を目ざす。
- B、教育の個性化機能と社会化機能を充分にはかり、その調和を期する。
- C、社会人職業人としての基礎的陶冶をはかり、進路選択能力を養う。
- D、各領域における情操陶冶を実現するとともに公正なる判断力を養う。
- E、健全なる身体の育成をはかる。

<瑞中生の活躍>

バスケットボール部（女子）

第 58 回江戸川区立中学校秋季総合体育大会
9 月 1 3 日（土）～ 1 0 月 4 日（土）

第 3 位

バスケットボール部（男子）

江戸川区秋季区民体育祭大会
8 月 2 3 日（土）～ 9 月 7 日（日）

ベスト 8（秋季総体シード権獲得）

バドミントン部

第 68 回東京都中学校バドミントン新人大会 C ブロック

（5・6 合同ブロック）予選会

男子団体 第 3 位（都大会本戦出場権獲得）11 月 2 日（日）

令和 7 年度江戸川区中学校読書感想文コンクール

優秀賞

佳作

佳作

第 7 2 回江戸川区立中学校弁論発表会

優秀賞